

## 緑の相談コーナーだより

NO. 322 2012. 4. 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

### 身近な樹木 “ハナミズキ” (花水木)

#### ～日米親善の歴史を物語る美しい木～



ハナミズキ  
*Cornus florida* L.

ハナミズキは、ミズキ科ミズキ属の落葉小高木で、温帯各地で街路樹、庭木などとして植栽されています。北アメリカ原産で、通常高さは3～5mでまれに10mを越えるものもあります。この木は、明治45年に尾崎行雄東京市長が友好親善を願ってアメリカ合衆国へサクラの苗木を寄贈した返礼として、大正4年に日本に送られてきた花木です。当初は、日比谷公園をはじめ16カ所に植えられ、日米友好の芽として大きく生長し、多くの日本人に親しまれてきました。サクラの花が終わる頃に咲き出す花は清楚な白花、可憐なピンク、華麗な紅色など春爛漫の風情があります。ことに、そのやさしい色彩

と可憐さから女性に人気があり、「花水木女ふたりの歩を合はす」という句などにハナミズキに心を寄せる情景が詠われています。

枝は水平に張りだして伸び、8月頃、春に伸びた枝の先に蕾をつけます。花卉に見えるのは大きな苞で、四枚あります。10月頃に、深紅色でつやのある楕円形の果実が熟し、秋の紅葉もなかなか美しいものです。北海道では道南から道央で植えられており、札幌ではよく開花するのですが、岩見沢では毎年開花するのは難しいようです。

しかし、室内公園色彩館では毎年3月になると美しく開花しております。

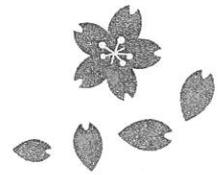
ハナミズキの名前の由来ですが、樹液が多いことから「水木」と名付けられたミズキの仲間、美しい花を咲かせることから、「花」の文字が添えられ、「花水木」と呼ばれるようになりました。日本に入ってきた当初は、日本産のヤマボウシに似ていることからアメリカヤマボウシという標準和名がつけられました。しかし、花の華麗さははるかに際立っており、後にハナミズキが一般的な呼び名となりました。また、

ドックウッドやフロリダミズキなどの別名があります。

ハナミズキの用途は、花と実と紅葉の三拍子がそろった、代表的な落葉花木であることから、庭木や公園、街路用の景観樹として盛んに植栽されます。また、樹皮は解熱作用があることから、キニーネの代用にされた歴史があります。なお、ハナミズキは水分を多く吸うのが特性なので、冬の乾燥と寒風に弱いので寒冷地では保護が必要です。種類としては、淡紅色の花のアカバナハナミズキ、花つきもよく、ぼかしの入った桃色花のジュニアミス、葉に黄色の覆輪の入ったレインボー、黄斑の入った葉に白い花のファーストレディ、多花性で濃紅色の花のチェロキーチーフなどがあります。

1つずつ花の夜明けの花みづき 加藤楸邨

昏るるとき白き極みよ花みづき 中村苑子



## 公園だより

### バラ園

昨年暮れからの記録的な大雪によって、3月になってからも、各地で家屋の倒壊や農業ハウスの被害が発生し、私たちの生活にも計り知れない影響がでてしまいました。三寒四温の寒暖の繰り返しで、なかなか進まぬ雪解けに気をもんでいた3月も過ぎ去り、いよいよ春の訪れを感じさせる季節となりました。バラ園に積もった雪の下からバラ達が次々に顔を出してくるのももうすぐです。ハマナスの丘ではヤナギの芽もふくらみ、小鳥たちのさえずりも聞こえてきます。いつもの年ですと、下旬頃には園内のレンギョウの花が金色に輝き、キタコブシの花が、この北国の大地に春を告げるのですが今年はどうでしょう。

♥**今月のバラ園からの一口メモ**は、バラ苗木の購入についてです。雪解けが進み早い年なら、下旬頃から植え付けが始まる季節です。バラを上手に育てるコツは、良い苗木を選ぶことが第一です。そこで、バラの苗木を求めるに当たっての注意点を述べておきます。まず、苗木は信用のおけるお店から買い求めることです。信用のある園芸店やホームセンターで求めると間違いありませんが、その中でも次のポイントを押さえておきましょう。苗木には新苗と大苗（二年生苗）の二つの種類があり、新苗は、接いしてから日が浅いので、安いけれども失敗しやすいこと、大苗は値段が高いが、初心者には向いています。いずれにしても、丈夫で健全なものを選びましょう。

**室内公園色彩館**では、女性に人気のハナミズキの花が終わりに近づき、春の日差しを受けてクスノキの若葉が目にしみる季節となりました。また、壁面のモッコウバラやスーヴニール・ドゥ・ラ・マルメゾンなどのツルバラが咲き始めました。

**南国温室**では、レモンや四季なりミカン、ユズなどの実が色づき、パパイアの実も大きくなってきました。ランタナやアンスリュウム（オオベニウチワ）、カラーの花々も咲き続け、ここは南国の別世界です。

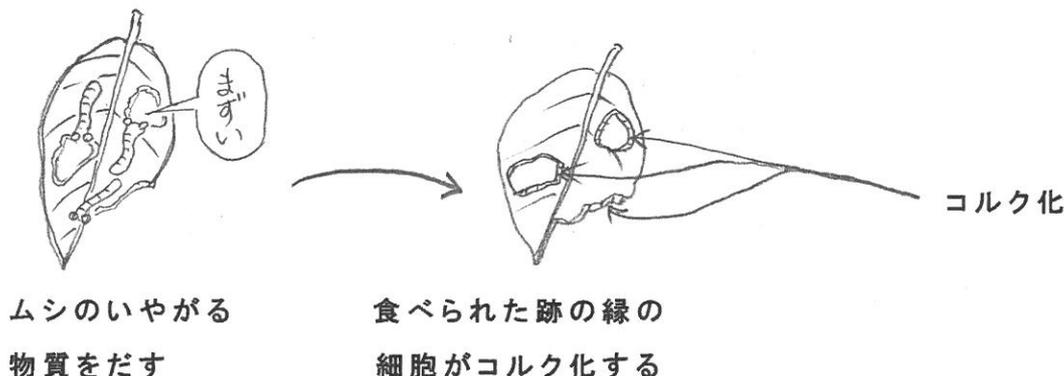
## 相 談 日 記

**問** 樹木には「病気や害虫から身を守るための防衛機能や伝達機能がある」と聞いたことがあるのですが、本当なんでしょうか？あるとすれば、その機能はどのような仕組みからなっていて、どんな方法を用いて病原菌から樹体を防御しているのか知りたいのですが。

**答** 病原菌に対して樹木がもつ重要な防御機能には、過敏細胞死と木化があります。たとえば樹木の葉に病気が発生すると、病原菌が寄生している部分の周囲の細胞は多量のフェノール類などを出して、自家中毒で死んでしまいます。これが過敏細胞死で、こうなることで、生きた細胞から糖などを奪おうとした病原菌は、周囲が死んだ細胞ばかりになるため、それ以上広がることができなくなり、脱落してしまうのです。病原菌が侵入したときにおきる、もう一つの重要な反応が柔細胞の木化で、病原菌が侵入した部分の周囲の柔細胞の細胞壁にリグニンという物質が沈着し、化学的、物理的に結合して強固な壁となり、木化するのです。

また、樹木は害虫のいやがる物質を出して虫に抵抗することができます。まず、害虫のいやがる物質をたくさん出して葉を全体的にまずくします。次に食べられた部分の周囲の組織にコルク形成層をつくり、細胞をコルク化してしまいます。害虫はそれ以上食べることができなくなり、よその葉にいきます。樹木が発する芳香、ヤニ、渋味、苦味、毒物、臭気などは、いずれも病気や害虫に対する防御のためにあり、自分たちを食べてもうまくないようにしていると言えます。

樹木は害虫が発生して被害が大きいと、その情報を近くの木に伝えることも知られています。その情報伝達はエチレンやメチルサリチル酸などの物質で行われ、情報を受けたほかの木は、葉をまずくするなどして食べられないようにし、その場所での被害拡大を防いでいるのです。このような現象は、アフリカのサバンナにあるアカシアの林とキリンとの関係でも見られるといいます。



## ランの一種ではありません～クンシラン 花言葉 優しい気持ち



ヒガンバナ科クンシラン属の不耐寒性多年生植物で、別名ウケザキクンシランとも呼ばれます。原産地は南アフリカのナタール州で、日本には明治の中頃渡来し、鉢植え栽培される観賞用の栽培植物として親しまれてきました。

濃緑色で肉厚の葉が左右に扇状に広がり、中心部からやや扁平な太い茎を出し、頂部にオレンジ色の花を多数咲かせ、豪華な気品と優しさを合わせもっております。また、多くの斑入り品種や矮性品種も作出されており、観葉植物や古典園芸植物としても人気があります。名前の由来は、種名 *nobilis* (高貴な) という意味から君子蘭と名づけられましたが、一般にクンシランといわれているものは *miniata* 種で、本来はウケザキクンシランです。手入れのポイントですが、葉が強光線で見焼けしやすいので、半日陰におきましょう。極端な低温や霜に当てると葉が傷むので、冬は室内で管理しますが、開花には 10℃で 60 日間の低温期間が必要です。不足すると未開花または花首が短くなります。

## 4～5月の園芸講座・行事案内

### 市民園芸講座の内容紹介

#### ♣ ハングング作りの基本

日時 4月15日(日) 13:00～15:00

講師 月形コテージガーデン 梅木あゆみさん 定員 40人 材料代 1500円



#### ♣ 楽しい家庭菜園作り I

日時 4月22日(日) 13:00～15:00

講師 園芸研究家 横山 弘さん 定員 40人 参加料 無料

#### ♣ 小品盆栽・苔玉の楽しみ方

日時 5月12日(土) 13:00～15:00

講師 岩見沢樹石会 吉川 茂さん 定員 40人 参加料 無料

#### ♣ 楽しい家庭菜園作り II

日時 5月13日(日) 13:00～15:00

講師 園芸研究家 横山 弘さん 定員 40人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド(空知リゾートシティ株式会社)

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111 まで